

2 0 2 0 年 度

事業報告書

公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

2020年度事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

1. 事業の経過の概要

2020年度、当協会は所謂「コロナ禍」の下での厳しい運営となり、主要事業である大阪フィルハーモニー交響楽団の運営においては当初の事業計画の大半が中止又は延期となる中でその活動は極めて限定的なものとならざるを得ず、年間実施公演数は72公演（予算比▲38公演、前年度比▲25公演）でした。

それでも、当楽団は大阪を代表するオーケストラとして、交響管弦楽その他音楽の普及振興を図るとともに、青少年層の音楽鑑賞・演奏に関する指導を行うと言ったわが国の文化芸術の振興、大阪を中心とした地域貢献に資する事業を、ガイドラインを遵守しながら可能な限り実施いたしました。

これらの事業の実施は、中期的な重点課題である「自立に向けた収益基盤の充実」、「オーケストラの体制整備」、「大阪の都市魅力の向上に資する社会貢献活動の推進」の3つの点に沿った形で展開してまいりました。

演奏活動は6月の定期演奏会より再開することが出来ましたが、約4ヶ月間にわたる演奏会の中止により多額の収益機会を逸失するに至りました。

楽団の存続と活動継続のため、金融機関から新型コロナウイルス感染症関連特別借入を行うとともに、楽団経費、事業費の削減、各種助成金の確保やクラウドファンディングへの取組みといった自助努力にも注力いたしました。

さらに、多くのお客様や理事会社様を始めとする企業・団体様からの多額のご寄付や国の追加助成措置も加わり、当年度の経常収益は944百万円（前年度比+25百万円）、経常費用は783百万円（前年度比△156百万円）、経常増減額は161百万円（前年度比+181百万円）となりました。

以上から2020年度は各方面からの多額の支援によって乗り切れた恰好となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響は現在も変異型ウイルスによる第4波と更に厳しい状況が続いております。引き続き、感染症拡大防止策を講じた上で楽団の活動を維持すると共に、更なる経営改善策の検討、推進を図ってまいります。

2. 2020年度重点課題の実施状況

(1) 自立に向けた収益基盤の充実

2020年度の公演回数は、当初の事業計画110件(自主公演39公演、依頼公演71公演)に対し、実績72件(自主公演31公演、依頼公演41公演)となりました。また新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、自主公演12公演及び依頼公演33公演が中止となりました。

定期演奏会では若手から巨匠まで国内外の様々なタイプの指揮者、独奏者を招く予定にしておりましたが、政府の入国制限によって1月定期の指揮者エリアフ・インバル氏以外、全ての外国人アーティストが来日不可となり、日本人の代役を立てて開催いたしました。その他の自主公演については、前年度のブラームスに続き、尾高忠明音楽監督の指揮でチャイコフスキーの交響曲全曲演奏会に挑みました。

このように予定していた公演回数は半分近くに減り、公演内容も一部変更を余儀なくされるなど、新型コロナウイルスによる影響は甚大で、更には二度に亘る緊急事態宣言によって、ほとんどの期間(9/19～1/7以外)観客収容率が50%に規制される等、収益基盤の充実を図るには極めて困難な1年となりました。

しかしながら一方で、個人や企業から多額の寄付を頂戴し、12月22日～3月21日まで実施したクラウドファンディングでは、1,309人の方々から計19,412,000円の支援を得ました。今回ご支援下さった皆様には、今後も引き続き弊団のファンとなって頂くべくアプローチを続け、新たなファン層の拡大に繋げていきたいと考えております。

(2) オーケストラの体制整備

楽団員の体制につきましては、中期的目標である80名体制の整備に向けて、トップレベルの優秀な人材確保を目指しておりますが、本年度はヴァイオリン奏者1名の入団のみとなりました。またオーボエ奏者1名とヴィオラ奏者1名が退団したため、結果、2021年3月31日現在で、コンサートマスターも含めた楽団員数は68名となりました。

コンサートマスターにつきましては、ソロ・コンサートマスターを崔文洙氏、コンサートマスターを須山暢大氏に務めていただき、分担して演奏会へ出演いただきました。

(3) 大阪の都市魅力の向上に資する社会貢献

大阪の秋の風物詩として街の活性化にも貢献している「大阪クラシック」については、15年目となる2020年度も桂冠指揮者の大植英次マエストロがプロデューサーを務め、2020年9月初旬の1週間開催いたしました。例年と違い新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ソーシャルディスタンスを確保した有料公演とステイホームでお楽しみいただく無観客公演の無料動画配信という異例の企画で開催いたしました。3,885人の来場者と動画再生回数78,826回という結果に、大阪市様からも高い評価をいただきました。

3. 大阪フィルハーモニー交響楽団の運営状況

(1) 定期演奏会(文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業)

回数	開催日	指揮者	共演者	入場者数
第537回	中止	—	—	—
第538回	中止	—	—	—
第539回	2020.6.26・27	大植英次	—	1,222人
第540回	2020.7.22・23	飯守泰次郎(代演)	—	1,301人
第541回	2020.9.25・26	沼尻竜典	中島郁子、望月哲也(代演)	1,378人
第542回	2020.10.16・17	小林研一郎(代演)	—	1,633人
第543回	2020.11.13・14	尾高忠明	—	2,059人
第544回	2021.1.28・29	エリアフ・インバル	—	1,752人
第545回	2021.2.12・13	尾高忠明	北村朋幹(代演)	1,975人
第546回	2021.3.17・18	齊藤一郎(代演)	菊池洋子(代演)	1,643人

新型コロナウイルスの影響により、世界中のオーケストラが舞台上のソーシャルディスタンスを確保するため、予定演目を変更し、編成の縮小を余儀なくされる中、弊団は幸いにも大編成のオーケストラがソーシャルディスタンスを保っても演奏できる広い舞台のフェスティバルホールが定期演奏会の会場であることから、大半の公演を予定通りの演目で開催し、従来編成で演奏することができました。これにより大阪フィルが誇るダイナミックなサウンドが保たれ、音楽ファンをはじめ文化庁等の助成機関の専門委員からも高い評価を得ることができました。

公演回数は、4月と5月の定期演奏会が中止となったため、4公演減の計16公演を開催。内、3人の外国人指揮者が入国できず日本人指揮者の代演となりましたが、いずれも大阪フィルの音楽性を十二分に引き出す素晴らしい演奏となりました。

その他、第541回の沼尻竜典氏指揮による公演は公益財団法人アフィニス文化財団様から高い評価をいただき、「楽団としての成長、発展を目指して企画された意欲的な公演」として「アフィニス エチケット」による助成を受けました。

(2) チャイコフスキー・チクルス

尾高音楽監督就任3年目の企画として、ベートーヴェン、ブラームスに続き朝比奈時代から主要レパートリーとして繰り返し演奏して来たチャイコフスキーの交響曲全6曲に挑み、更に収録した動画をクラシック専門のストーリーミングサイト「カーテンコール」にて配信し好評を博しました。

(3) 東京定期演奏会

2月15日にサントリーホールで開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ中止いたしました。

(4) マチネ・シンフォニー(文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業)

夜間に開催するコンサートへの来場が難しいお客さまに楽しんでいただくことを目的として、平日昼間の本格的なコンサートとして、Vol. 23、Vol. 24の2公演を開催いたしました。

(5) ソワレ・シンフォニー(文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業)

多くの方に楽しんでいただける本格的な名曲コンサートとして、Vol. 15、Vol. 16の2公演を開催いたしました。

(6) その他の自主公演・共催公演

「会員コンサート(個人会員)」3公演

「会員コンサート(法人会員)」1公演

「京都特別演奏会」1公演

「第9シンフォニーの夕べ」1公演

「新春名曲コンサート」1公演

「ドラゴンクエストコンサート」 1公演

(7) 大阪市様からの委託事業等

地元西成区の音楽文化振興を目的として、大阪フィル会館を舞台に毎年継続開催している「にしなりクラシック」を1公演開催いたしました。

また、「大阪クラシック」では、大阪クラシック実行委員会からの委託事業として、有料制のオーケストラ公演を2公演開催いたしました。

大阪市の公募型プロポーザル方式で採択された「はじめましてオーケストラ」(大阪フィルと中学生の共演コンサート)を1公演開催いたしました。

(8) 依頼公演

企業・団体・ホールからの依頼公演((7)の公演を含む)を年間通じて41公演開催し、クラシック音楽の普及に努めるとともに、企業・団体の社会貢献活動の取り組みに音楽の提供を通じて貢献することができました。

4. 大阪フィルハーモニー会館の運営

当協会が保有する大阪フィルハーモニー会館のメインホール(600㎡)・市民スタジオ(90㎡、40㎡×2の3室)を、市民の音楽活動の拠点として貸与する事業を通じ、地域の音楽文化の普及、振興に貢献してまいりました。2020年度の利用件数は新型コロナウイルス感染症の影響により、メインホール12件、市民スタジオ3室合計332件に止まりました。

5. 法人の庶務

(1) 総会

- ・ 定時総会 開催日 2020年7月15日

決議事項

- 議案① 2019年度事業報告及びその附属明細書承認の件
- 議案② 2019年度貸借対照表、正味財産増減計算書、それらの附属明細書および財産目録承認の件
- 議案③ 理事全員任期満了に伴う理事24名選任の件
- 議案④ 監事全員任期満了に伴う監事2名選任の件

(2) 理事会

・ 定時理事会 開催日 2020年6月19日

決議事項

- 議案① 第9回定時総会招集の件
- 議案② 2019年度事業報告及びその附属明細書承認の件
- 議案③ 2019年度貸借対照表、正味財産増減計算書、それらの附属明細書および財産目録承認の件
- 議案④ 理事全員任期満了に伴う理事候補24名選任の件
- 議案⑤ 監事全員任期満了に伴う監事候補2名選任の件
- 議案⑥ 長期借入金承認の件

・ 定時理事会 開催日 2021年3月15日

決議事項

- 議案① 2021年度事業計画(案)及び収支予算書承認(案)の件

(3) 会員の状況

本年度末の会員数	: 法人	255社	個人	262名	計	517名
前年度末の会員数	: 法人	265社	個人	258名	計	523名
差引	: 法人	▲10社	個人	+4名	計	▲6名

(内 訳)

入会	: 法人	5社	個人	21名	計	26名
退会	: 法人	▲15社	個人	▲17名	計	▲32名

2020年度新規加入会員

(法人の部) 5社

三井不動産株式会社、株式会社カネカ、野村證券株式会社、匿名2社

(個人の部) 21名

山本晃公、河島大地、安部訓世、近藤望、横関聖子、豊田篤、山本真三、西畑俊哉、鷹取賢治、中井陽子、松永歆、竹尾重人、匿名9名

(4) 理事の異動

2020年度中の理事・監事の異動は下記のとおり

(退任理事・監事)

- ・理事 片岡 不二恵氏(株式会社高島屋 常勤監査役)
2020年7月15日退任
- ・理事 森 詳介氏(関西電力株式会社 相談役)
2020年7月15日退任
- ・監事 岡田 達志氏(関西電力株式会社 常務執行役員)
2020年7月15日退任

(新任理事・監事)

- ・理事 天野 剛志氏(株式会社高島屋 総務本部総務部 部長)
2020年7月15日就任
- ・理事 彌園 豊一氏(関西電力株式会社 取締役 代表執行役副社長)
2020年7月15日就任
- ・監事 長田 晃一氏(関西電力株式会社 総務室長)
2020年7月15日就任

※ 各氏の所属会社・団体での職位は、いずれも就任・退任時の職位

以上

公益社団法人大阪フィルハーモニー協会 役員一覧
(2021年3月31日現在)

理事長 奥 正之
常務理事 松村 隆
常任理事 今井 敏之
〃 角元 敬治
〃 中嶋 啓吾
〃 新沼 宏
〃 福田 里香
〃 彌園 豊一
〃 室町 鐘緒
理事 天野 剛志
〃 安藤 恭輔
〃 板井 昭浩
〃 大場 英幸
〃 小原 一泰
〃 斉藤 裕典
〃 笹川 淳
〃 宍道 学

理事 武野 一起
〃 鶴田 七郎
〃 中谷 敏昭
〃 西岡 信雄
〃 長谷川 壮
〃 久田 裕彦
〃 山本 卓彦
監事 長田 晃一
〃 森下 文夫
顧問 宇野 郁夫
〃 太田 房江
〃 小野寺 昭爾
〃 北岸 松男
〃 佐藤 義雄
〃 關 淳一
〃 中川 和雄